

One purpose

同志社大学通信
FOR BETTER COMMUNICATION

133

2002
December
DOSHISHA UNIVERSITY

特集●同志社大学登山隊の活躍

同志社人訪問●航空・科学ジャーナリスト
中村浩美さんに聞く



特集

同志社大学 登山隊の活躍

未踏峰ロンライカンリ峰登頂／台湾の最高峰 玉山登頂

2

来年度就職を目指すみなさんへ

7

INTERVIEW ～同志社人訪問～



航空・科学ジャーナリスト
中村浩美さんに聞く

9

LECTURE 国立国会図書館関西館開館を記念して

「文化創造力がひらく可能性」 (読売けいはんなシンポジウム)

12

ゼミ・ゼミ おじゃまします 法学部 井関 涼子ゼミ (3年次)

不正競争防止法を掘り下げる ～知的財産法の研究

13

新島 襄の旅した風景 特別編

アメリカ●マサチューセッツ 同志社社史資料室 本井康博さん

15

OP COMMENTARY

越後屋 朗 神学部助教授 イスラエル・パレスチナ衝突と発掘調査中止

18

CAMPUS NEWS

学生会館について／新町新学生会館の食堂兼購買店舗(新町カフェ)がオープン／スポーツフェスティバル開催／同志社大学山岳会がネパールのシェルパ族に学生寮を建設・寄贈／スポーツ工学国際会議で受賞／松蔭寮をリニューアル／体育会バレーボール部初の海外遠征／卒業生の集い「ホームカミングデー2002」華やかに開催される／2002年度資格試験など合格ランキング／トピックス

19

DVD・CD

浦坂 純子 文学部助教授『ER 緊急救命室Ⅰ～Ⅳ』

Gavin James Campbell アメリカ研究科客員教授 Review of Janis Joplin『Pearl』

23

MY JOB, MY LIFE ～シリーズ私と「仕事」～

・中山 容子さん(1995年工学部卒業)

・高岡 正樹さん(1997年法学部卒業)

25

COVER STORY

[表紙の情景]



写真のFRIEND PEACE HOUSEは御所の東隣にあり、国際交流を目的とした施設。90年前に建てられたこの洋館は、白い壁に緑の窓枠や柱が印象的な木造の建物だ。おもに留学生のための行事などに利用されている。

中国大連からの留学生で文学部文化学科教育学専攻3年次生の桂 明宇さんは「趣のある洋館が素敵。静かだし、御所の近くで緑に囲まれていても落ち着きますね」と語る。また、日本の伝統文化にも興味がある桂さんは「京都には文化財がたくさんあり、気軽に見に行けるのが嬉しい。御所にも先生に引率していただいて何度か訪れました。歴史的な場所にキャンパスのある同志社大学に留学して、本当に良かったです」と笑顔で語ってくれた。

同志社大学といえば煉瓦造りの校舎が多くこのような木造建築は今ではめずらしいのだが、一方では同志社英学校開校当時を連想させる同志社らしい建物ともいえる。

夜はライトアップされ木々の間に洋館が浮かび上がり、幻想的な風景となる。

「撮影スポット」を募集中!

「One Purpose」の表紙を飾る写真の撮影場所を募集しています。普段見慣れたキャンパスも「こんな所から見ると違った表情を見せてくれる」。そんなスポットがあったら、ぜひご推薦ください。

[連絡先]

企画部広報課「One Purpose」係まで
TEL : 075-251-3120

同志社大学登山隊の活躍

今年の夏から秋にかけて、世界の山に挑んだ人たちがいる。一つは未踏峰の登頂をかけた、もう一つは40年来の夢を実現するために、長い道の間を経て頂に辿り着いた、それぞれの登山を紹介する。

未踏峰 ロンライカンリ峰登頂

9月24日、同志社大学チベットヤルツァン水河源流域学術登山隊（2002年同志社大学総合政策科学研究科、同志社大学山岳会共催）が、中国チベット自治区の西トングマの未踏峰、ロンライカンリ峰（6859メートル）の初登頂に成功した。登山中の「ミミ」などをすべて持ち帰る「ゼロエミッション」にも取り組んだ同隊は、同峰の麓のヤルツァン水河源流域の環境調査もあわせて実施した。総隊長の太田進（総合政策科学研究科教授と隊長の和田豊司さんの両氏に、同志社大学体育会山岳部部員の折坂悠太さん（法学部1年次生）が話を聞いた。

折坂 ロンライカンリ峰の世界初登頂おめでとうございます。

和田 ありがとうございます。

折坂 まず、登頂時の様子からお聞かせください。

和田 現地時間の9月24日午前11時40分、本時間の午後0時40分、日本人隊員5人とネパール人シェルパ3人の合わせて8人が登頂に成功しました。そこには、濃藍と純白の世界が色鮮やかに広がり、とうとう来たんだなとうれしさが込み上げてきました。何よりもうれしかったのは、この頂に隊員全員が立てたことです。こぶしを天に突き上げる隊員もあり、みんなで喜びに浸りました。といつてもそれは氷点下数10の世界、風も強く30分ほどで山頂を後にしました。

太田 和田さんたちが登頂した時、私はすでに帰国しており、現地の衛星電話の故障もあり登頂の成功を知ったのは、5日後の29日、喜びとともにほっとしました。

折坂 同志社大学山岳会は、4年前にも同

峰に挑戦していますが、そのときは残念ながら雪崩のため撤退したと聞いています。今回はその経験が生かされたのでしょうか。

和田 そうですね。4年前はちょうど、雨の多いモンゴンの時期と重なっていました。その影響もあり山頂まで500メートル余りを残して雪崩に遭い撤退を余儀なくされました。その時、雪崩に巻き込まれ、クレバスに叩きつけられた西田克己君（08年総合政策科学研究科修了）が今回の登攀隊長です。彼は松葉杖を1つに帰国し、3年間のリハビリの末、負傷を克服して今回の登山に臨みましたが、モンゴンを避けるために、前回より1カ月ほど遅い9月に入山。モンゴンが明けてから冬がくるまでの安定した時期を狙って登攀計画を立てました。衛星電話の故障で気象協会の予報が手に入らない中、今までの経験と雲や風の動きからそのチャンスをつまくとらえることができました。

9月9日に同峰の東側の標高5400メートル地点にベースキャンプを建設して慎重に登山ルートを作作していき、23日に標高6400メートルの第2キャンプに入りました。西田君を筆頭に若い





朝焼けのロンライカンリ峰
(和田隊長撮影)

隊員たちの登攀意欲がとて高く、気圧による障害も軽かった。翌24日の午前7時40分に同キャンプを出発しました。あたり一帯にガスがかかっている中、固定ロープを伝いながら慎重に歩を進めていきました。斜面の傾斜は45〜60度近く、頂上まで標高差であと50mとなった地点で、ロープがなくなってしまう。もしロープがない状態で、山の稜線から谷側に張り出したひさし状の雪庇に足を踏み入れれば、転落は避けられません。いったんそこで歩を止め、話し合った結果、西田君とセルバの2人を先頭に、赤旗の付いた竹竿を雪に差し込み、安全かどうか確かめながら進んでいきました。出発から4時間、ついに頂上に到着しました。

和田 今回の登頂成功には、隊員たちの年間18回にもおよぶ準備登山はもちろん、和田さんのリーダーシップが欠かされたと思いません。東芝で部長を務められたこともあり、組織というものをよく理解されていた。同登山隊の間に、絶妙なハイマツのようなものを感じましたね。

和田 半年ほど前に、山岳会から隊長を要請された時は、断るつもりでした。でも隊員たちに隊長を引き受けるよう懇願されて気持ちが変わりました。10年程前に、苦楽を共にし、当時現役だった3人の隊員の名前を見つけたからです。あの時、私は北アルプスの剣沢への合宿に同行していましたが、ところが彼らは山中で食中毒を起してしま

た。たまたま難を逃れた私

登頂当日の朝、山頂を目指して第2キャンプを出発する隊員たち



は、彼らを山小屋に担ぎ込み、救急入りを呼び寄せるなど、介抱にあたりました。息子のようにな彼らともう一度山に登りたいの思いから引き受けたのです。セルバたちもよく知った人たちで、私にとってまさにベストメンバーでした。

今回の登頂にあたっては、山岳部出身者やチベット登山協会などのさまざまな方からのご支援をいただいております。誌面を借りて皆さまにもお礼を申し上げます。

折坂 これでまた一つ、同志社大学山岳部・山岳会の歴史に輝かしい足跡が加わりましたね。和田 同志社大学山岳部・山岳会の大きな特徴は、未踏峰の山に挑み続けてきたことです。1960年の「シマヤマ脈の冒険」7132メートルの初登頂をはじめとして「れまぐナムナ」(7694メートル)、「カント峠」7055メートルなどの数々の初登頂に成功してきました。これは、新島島が1864年に、国禁を犯して函館からワイルド・ロバ号でボストンに渡った、そのパイオニア精神を受け継いでいるのです。

ゼロ・エミッションの実践

折坂 今回の山行では、「ゴミなどをすべて持ち帰る、ゼロ・エミッション」を実践したと聞いていますが、目標は達成できたのでしょうか。和田 私は達成できたと思っています。計画段階から環境をテーマにしました。これから

さらに登山者が増えるだろうと予想されるチベットで、どこまで環境に負荷をかけずに登山できるのかを試みたからです。具体的には、標高5400メートルのベースキャンプでは、微生物が存在しているので、自然の浄化作用を利用しました。生



ゴミだらけだったナクチューシャンの村を村の人達と清掃。

ごみにはボカシ菌を加えて堆肥化を促した上で土の中に埋める。大便も同様に堆肥化しました。乾電池やガム缶など自然分解できないものは、ある程度の処理能力があるラサの処理場まで運びました。問題はそこから上の微生物が繁殖できない地域です。自然分解に頼ることができず、ベースキャンプまですべて持ち帰らないといけない。特に問題になったのが大便です。そこで標高5800メートルのABC (advance base camp)には、20リットルのタンクを置き、それ以外は携帯用トイレを使用しました。使用後は、袋で包みザックの後ろにぶら下げてベースキャンプまで運びました。唯一、危険を回避するために設置した固定用のロープとスノーバーを若干残してきた以外は、すべてのごみを持ち帰ってきました。

和田 これまでの登山は、「ゴミなどの廃棄にあまりにも無関心でした。登山家の野口健さんがチオモランマで清掃登山を行っています。が、それをさらに発展させて、排泄物を含め自らが山に持ち込んだものをいっさい捨てない」ということが、これからの登山には必要でしょうね。そういう面でも今回の登山には大きな意味がありました。

和田 登頂後ベースキャンプを引き払って麓

同志社大学登山隊の活躍

ABCに設置したポリタンクトイレと
第2キャンプ以上で使用した
携帯用トイレ



ベースキャンプでの生ゴミ処理。
ポカシ菌で堆肥化を
促した後、埋める



の村、ナクチューシヤンまで降りてきた時、村中がゴミだらけで驚きました。ビニールやビール瓶などが辺り一面に散らばり、まるで花が咲いたよう（笑）。これではいかんと、村長さんや小学校の校長先生、さらには生徒たちの協力を得て、丸一日かけて村中を清掃。ゴミをためる穴を掘り、不燃物についてはラサまでトラックで運びました。これをきょうかけに村の人たちの意識も変わり、生徒が毎日15分ほどの清掃活動をするようになりました。

学術調査について

折坂 ヤルツァン河源流域の社会科学的・総合科学的調査研究も実施されましたが、具体的にどのような調査が行われたのでしょうか。太田 今回の調査は、大きく3つに分けることができます。1つは、水資源に関するもので、水質の汚染度の測定などを行いました。2つ目は、環境と人々の共生。現地住民の生活が環境に及ぼす影響の調査などです。3つ目は、持続可能な開発について。これについては私の帰国後も他の隊員たちによってさまざまな調査が行われており、これから調査結果を分析していきます。前回も地質学が専門の横山卓雄工学部教授を中心に学術調査を行っており、協力して総合的な報告書にまとめあげたいと思っています。

それからこれはラサ、ラツエなどで調査しながら感じたことですが、チベットの中に現代中国文化が大きく入り込んでいっているんですね。漢民族の流入も激しく、今やチベット自

写真左から

太田 進一さん

【総合政策科学研究科教授・
科長、商学部教授】
同志社大学体育会山岳部部長

和田 豊司さん

【1970年 工学研究科
修士課程修了】
同志社大学山岳会東海支部長

折坂 悠太さん

【法学部1年次生】
同志社大学体育会山岳部員



治区全人口の6割を占めています。地方に行くくと、自然にやさしい日干しレンガの家がたくさん見受けられますが、都市部では近代的な建築が増え、近代的な生活が浸透するにつれて、環境とのバランスが崩れてきています。このまま行くと近い将来、資源不足や産業廃棄物が問題になるでしょう。チベットには、仏教の影響で「循環」の思想があります。自然に任せておくだけでは何の解決にもならず、植林活動などで環境保全に取り組むことも必要になるでしょう。

和田 今でも地方では、ヤクの糞を肥料に、あるいは乾燥させて燃料にも使うというように循環を中心とした生活を営んでいます。近代化するにしても、そうした共生の思想を上手に取り入れて欲しいと思います。

学生へのメッセージ

折坂 今、山岳部は、部員数が少なく、マネージャーを含めて6人です。この現状をどう思われますか。

太田 今回、チベットに飛ぶ前には、高度順応のための和田さんと連れられて富士山に初めて登りました。すばらしかった。学生が山岳部に対して持つ「きついな、きついな、危険な3Kを、感動、きれい、かっこいい」という新3Kのイメージに現役部員自ら変えていく必要があるでしょう。新しいことに挑戦していく姿勢をもっとアピールしてみたいかがでしょう。

和田 山のすばらしさを感じて、その喜びを示していけば、おのずと後に続く人は出てくると私は思っています。私は幸運にも学生時代から今までもずっと同志社というバックグラウンドを利用して登山活動を行ってきました。同志社には、チャレンジャー精神を受け入れる器があります。学生の皆さんは、漫然と日々を過ごすのではなく、やりたいことを表現してチャレンジして欲しい。それが若さだと思います。

隊員

- 総隊長 太田進一（総合政策科学研究科教授）
- 隊長 和田豊司（70年 工学研究科修了）
- 啓蒙隊長 西田克司（98年 総合政策科学研究科修了）
- 隊員 植田雄介（97年 経済学部卒業）
- 隊員 千田敦司（97年 法学部卒業）
- 隊員 坪井兵衛（同志社大学山岳会会友）
- 学術隊員 郎 龍之（総合政策科学研究科院生）

生産工場や事業場から出るすべての廃棄物を、新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物を「ゼロ」にするをいって、1995年に国連大学が提唱した完全循環型の生産システム

台湾の最高峰

玉山登頂

ワンダーフォーゲル部出身の須田一彦さんと高橋良典さんの2人が、7月末、積年の夢であった台湾の最高峰、玉山(ユイサン)、3952メートルへの登頂を果たした。40年前、当時大学2年次生だった2人は同部初の海外遠征である玉山登山に参加できなかったため、登頂への思いを募らせていた。病気などで他界した遠征メンバーらへの慰霊も込めた今回の登山は、台湾の本土出身者や山岳関係者など多くの人に支えられた旅でもあった。

7月31日午前4時すぎ、須田さんと高橋さんの2人は、中華民国山岳協会「のメンバー34人とともに、玉山山頂をめざしていた。所々に鎖が張られた岩場を登っていく一行の上空には月が輝き、懐中電灯がいらぬほど登山道を明るく照らしていた。

今から40年前の昭和37(1962)年夏、海



玉山頂上にて

外渡航がまだ自由化されていない時代に、計画から1年余りを経て同部メンバー6人が玉山登頂を果たした。そのメンバーの中に計画立案者の須田さん、同期生の高橋さんの2人の姿はなかった。

当時1年次生の須田さんは、頂上に立つよろこびを富士山よりも高い山で味わおうと、同部初の海外遠征を企画。費用などを考慮した結果、日本統治時代には、新高山（テウカヤマ）と呼ばれていた台湾最高峰の玉山に的を絞り、費用の工面はもちろん、パスポートの取得にも奔走した。

「当時は今と違ってパスポートを取得するのに、滞在先の「身元引受人」が必要でした。その「身元保証書」を得るために、大学図書館にある校友会名簿を基に、台湾在住の同大卒業生を調べて片づ端から手紙を書き、協力を依頼しました。当時、台湾では中国との関係から戒厳令が布かれていた。その中で須田さんの熱意に応じてくれたのが、本学校友会台湾支部・支部長の林金殿さんや、同幹事長の陳誠志さんだ。同支部の働きかけもあり、台湾の山岳協会の支援も得ることができた。その後も渡航費、当時は1日20ドルまでの許可を得るために、日本銀行へ書類を提出するなど、多くの手続きが必要だっ

須田 一彦さん
【1964年
経済学部卒業】



た。ようやく準備が整った時には、立案から1年余りが過ぎていた。

しかし、いよいよ出発という時に、母親の病気などの事情から、須田さんは参加をあきらめざるをえなかった。地団駄を踏む思いだったという須田さんは翌年の春、弟とともに3週間かけて自転車での台湾一周を敢行。各地で卒業生の世話になった。日本や台湾の新聞にも随分取り上げられた。

「すばらしい思い出をつくることができました。しかし胸の奥には、玉山への思いがずっとありました」

ワンダーフォーゲル部の玉山登頂から40年。須田さんは旅行や仕事で何度か台湾を訪れたが、玉山に登る機会はなかった。卒業後、阪神百貨店に勤めていた高橋さんも、台湾にある提携先の百貨店、漢神百貨店に赴き4年ほど駐在したが、アタラクする機会はなかった。

昨年夏、還暦を迎えた須田さんは、かつての遠征メンバー6人のうち3人が、また、台湾でお世話になった方も多くが他界され、私自身もいつの間にか定年を迎え人生の節目

同志社大学登山隊の活躍



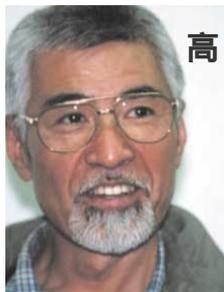
頂上から眺めたご来光

「3402メートルまで6時間強歩く。排雲山荘に着くと、山岳会のメンバーたちと夕食を楽しんだ。テーブルや椅子もなく設備は質素ながらも「11」落ちておらず気持ちよく過ごせたという。玉山ではガイドの指導などにより「11」の持ち帰りが徹底されている。夕食後、翌朝に向け明

を痛感する年齢となった」と、第2の人生を迎えるにあたり、40年来の夢の実現を決意。多くの方々の支援を得て、7月27日、須田さんの呼びかけに賛同した高橋さんとともに台湾に渡った。

到着の夜、台北市内のホテルで校友会台湾支部と中華民国山岳協会合同の歓迎食事が開かれた。会の冒頭、かつての「身元引受人」である今年85歳の陳さんが挨拶。陳さんから当時の「身元保証書」が手渡され、思い出話に花が咲いた。また須田さんは、八田大学長からの親善メッセージを代読して手渡した。

現地での準備の後、29日にチャーターバスで台北からふもと街、阿里山に入り、翌30日には更にバスで約1時間、標高2610メートルの上東埔へ。そこから高低差約1350メートル、距離にして片道15キロの行程を2日ばかりで登ることになる。台湾では3000メートル以上の山に登る際には入山許可書とともに、資格を持つガイドの同行が必要だ。今回の山行には、趣旨に賛同した同山岳協会から、65歳の黄宗和会長をはじめ34人ものメンバーが同行した。8合目の山小屋、排雲山



高橋 良典さん

【1964年
経済学部卒業】

阪神百貨店を定年退職し、ハイキングや旅行に出かけ自然の中に身を浸す日々を過ごしているという。日頃からスポーツジムに行って体を鍛えている。最近、マウンテンバイクで四国八十八箇所を17日間でまわった。60歳。

るうちに寝袋にもぐり込んだ。

31日午前2時過ぎ起床。まだ暗い。山小屋から外に出ると満天の星だった。月光が降り注ぐ中を歩きはじめる。それほど寒くはない。30分ほどで森林限界を抜け、岩稜帯の狭い稜線となった。傾斜も次第にきつくなり、体も熱くなっていた。

出発してから2時間あまり経った5時5分。急勾配の坂を越えてついに玉山山頂へ。頂上には、「一等三角点」、玉山主峰・標高三九五二公尺」と刻まれた標石があった。しばらくして、東の山並みから朝日がゆっくり昇ってきた。中央山脈や阿里山山脈に日があたり、眼下には雲海が広がっていた。2人は大声で「万歳！」と叫んだ。

「やっと40年の夢が実現したかと思うと、感無量でした。これかちどいつ風にして、生きていこうかなという不安もあったが、そんな思いを見事に吹き飛ばしてくれました。そして何より支援してくださった方への感謝の気持ちでいっぱいでした」

「あの頃、海外に行くことは高嶺の花でした



たので、憧れの山にやうときたんだなと感慨深かった」と須田さんと高橋さんはその時の思いをそれぞれ語る。登頂数十回という台湾

のベテラン岳友から、こんなに好天に恵まれた登頂はめつたにない。あなた方は本当にラッキーだよと言われた。

その後、京都鞍馬山寺から受納した狛犬の置物を標石のもとに安置し、線香をたき般若心経を唱えて、他界した方々の冥福を祈った。

今回の登山は、2人にとつて、生涯忘れ得ぬ思い出となったが、須田さんには、少し気掛かりなことがある。

「40年前は、台湾人の同志社卒業生が台湾各地に居りましたが、戦後、さまざまな理由で、同志社への留学が途絶えたために、若い卒業生が少ない。台湾での同志社を仲立ちにした社会的なつながりが薄れることが心配です」。その一方で、日本人駐在員を主体としたクローバー会の活動は活発だという。同志社人としての連帯と結びつきを深めることが大切だと須田さんは強調した。

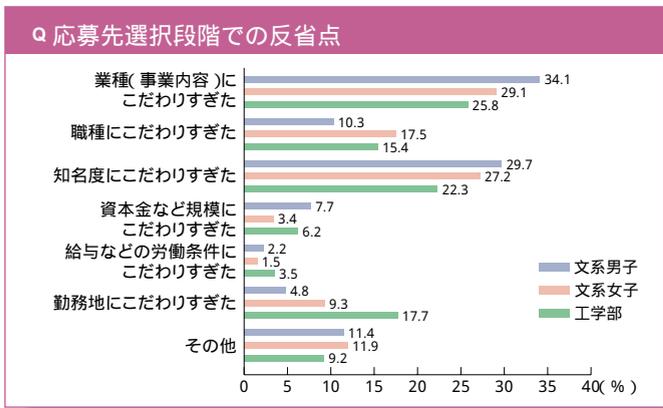
須田さんや高橋さんをはじめ、同部の1964年卒業生は全員元気で、今でも交流が続いているそうだ。体を動かすことが元気の秘訣。そして何よりも汗を流し、同じ釜の飯を食った友だちは生涯の宝です」と2人は微笑んだ。

Placement 2002

来年度就職を 目指すみなさんへ

就職をとりまく状況

2002年度・2003年4月採用の就職状況は、2001年度実績比12.7%減



三年ぶりのマイナスとなりました。日本経済新聞社「2003年4月採用状況調査」。これはIT不況の長期化で電機、通信関連企業などをはじめとする各企業が中長期で成長見通しを引き下げているためです。

このため、各企業は員数合わせの採用ではなく、将来の幹部社員候補たる、意欲ある優秀な人材だけを確保する厳選採用を行っています。そのため優秀な人材に対する内定の早期化がますます進むと同時に、反対にビク時に内定を得ることのできなかった学生にとっては、就職活動が長期化するという二極分化が顕著となっています。

また、採用の形態においても産業構造の変化や雇用の流動化に柔軟に対応するための通年採用や即戦力を重視した中途採用など様々になっています。このような早期化、長期化、多様化の流れは2004年4月採用の就職戦線において更に拡大していくことでしょう。

また、昨秋以降の混乱した国際状況、世界同時不況の進展、大量のリストラなど様々な企業を取り巻く環境から考えれば来年度の就職状況は、大変厳しいものになることが予測されます。

今年度就職活動をした 先輩からのメッセージ

(4年次生就職アンケートからのデータより)

英文 女 生命保険 最初は何かから始めたいのかわからない自分は何となくだとは思いますがとにかく多くの企業にエントリーして、とりあえず実行に移すことが一番だと思います。悩むより動くことが一番大切なことだと思っています。

商 異環境設備メーカー 企業のフロンティアにだけ受験していると必ず失敗します。自分の本当にやりたい仕事、将来をどうしたいかをじっくり考えてください。

経済 女 損害保険 本道にやりた仕事は何か、自分にできることできないことを見極めておくことが大切です。それを考えて自分に向いた仕事を選ぶことで、長く働くことができると思っています。また、かむやむに最後まかぬることも、差が出てくると思います。時間がある限り、多くの会社を回ることを大切に。英文 女 生命保険 私の内定先は、就職活動を始めた当初、まったく志望していなかった業界でしたが、今は就自身とても満足しています。先人観などにとらわれず、いろんな業界に目を向けて活動してください。そうする中で、いろんな業界の今まで知らなかった能力が見えてきて、活動の幅も広がるはずです。

英文 女 電機メーカー 一人は人、自分は自分です。自分が求める生き方に向いた企業、団体を選んでください。

経済 男 製薬 正しいあるポイントの勉強は早いところからいっしょに出てくるので、そのポイントの勉強にまじり手が回りません。

知識 女 電機メーカー やはり自己分析は大切です。秋学期試験が終わる頃から面接が始まるので、それまには友人から自分ができるように見られているかなを聞き、自己分析しておいた方がいいと思います。面接は緊張するものなので、慣れるためにも多めに受けたいので、面接が大切だと思います。

新聞学 女 広告 面接は、会社とのマッチングに人社まで対応できないのは、いろいろな面で良い経験です。

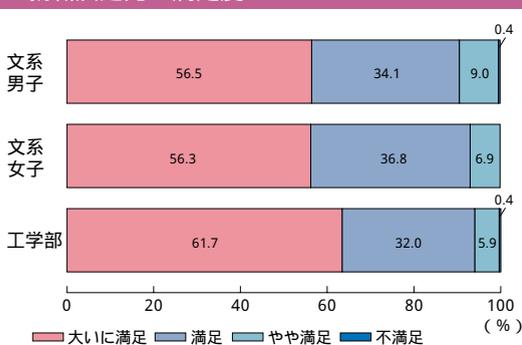
経済 男 シンクタンク とにかく、自分がどんな仕事をしたいのかを一つも具体的に持つことが大切です。それを面接等で熱く語ることで、きれば大丈夫です。

商 女 生命保険 1学生時代に力を入れたこと、自信を持って言えるようなことを何か一つ決めておく

企業が求める人材

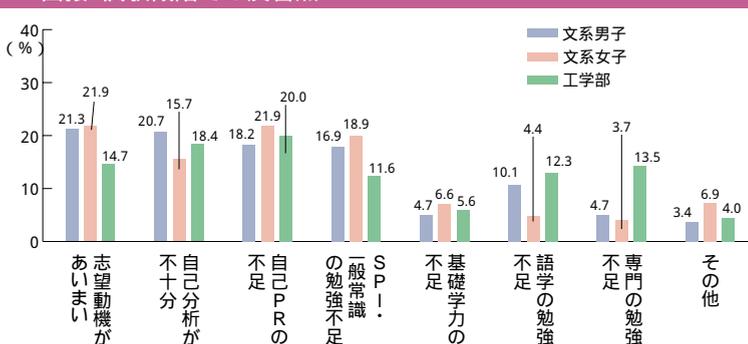
それでは、「このような時代に、企業はどのような人材を求めているのでしょうか。たとえば、飛びぬけた特別な能力を持たないのに、早々と内定を獲得する学生がいます。そうい

Q 就職決定先の満足度



う学生の特徴は、よく学び、よく遊ぶながら、「人間力」を蓄えることができていることです。「人間力」とは、ひとを思いやる力、他者との「コミュニケーション力」、社会の出来事に対する好奇心、明るさなどを構成される、その人の人柄、人間的魅力です。
企業は、あなたが今までで、どのような生き方をしてきたのか、どのように生きていくに取り組んできたのかを見ようとしています。

Q 面接・試験段階での反省点



それは、就職後、あなたがどのように仕事に取り組むかに結びついているからです。

今までに何を考え、どのように生きてきたのか、自己分析、これからのような道を歩もうとするのか、職業観の形成をよく考えてください。これらの分析が明確にできていて、自分の言葉で語ることもできる学生を企業は求めています。この自己分析や職業観の形成がしっかりとできていない学生は、厳しい就職状況下においても満足する結果を得ることができていません。

が重要だと思っています。商女インテリア商社「面接は数をこなすことが上達する」と思っています。しっかりと面接を受けた他の学生に聞いてみると、面接がたくさんあります。経済、男、精密機械メーカー、人それぞれだとは思いますが、やはり早く活動を始めるに越したことはないと思います。あとは、最後まで自分で自信を持ち、まず自分に素直になって就職活動をしてください。法律、男、地方銀行「ターゲットに就職活動しない限り、足を運び、目と耳で確かめ、口でちゃんと相手に思いを伝えることを心がけてください。経済、男、食品メーカー、自分自身を見限らず、自信を持って臨むことだと思います。もちろんその裏付けとなるための努力は精一杯してください。社会福祉、女、不動産「自分のやり方がわからなくてもよいと思います。ただ、色々な方向にチャレンジして、自分の可能性を広げてください。就職活動は自分で当たり前に進んでください。就職活動は自分で進んでいくことが大切です。経済、女、損害保険「就職活動をする上で、最も捨てなければいけないと感じたのは「無りの気持ちです。無りは自分をマイナス思考にするだけで、よい結果は導いてくれません。大切なのは、しっかりと自分に合う企業を探し続けること」という気持ちを持っています。自分のペースをしっかりと守り、やがてよみがたると心から思えるような活動をしてください。院、機械、男、精密機械メーカー「就職活動は、仕事を決めてから以上、自分探しの時代だと思います。悩むことも多いと思いますが、その分だけ成長した自分に誇りを持ってください。思い切り及ばなかったら、悔しいです。商男「機械メーカー」まだ大丈夫、という後回しはなりません。早く始めたからといって、必ずしも良い結果が出たり、すぐに活動を終わらせないでください。精神的に楽です。法律、男、電力「最近、社会の流れや会社の考え方も急激に変わってきています。会社に選ばれ、その姿勢で人事の方に好意を持ってもらえませんが、会社を自分から選んでいく姿勢でがんばってください。商女、機械メーカー「受験する企業数が多ければよい」とは思いません。自分のペースで就職活動すると思っています。就職部主催のセミナーなどはとても役に立つので、できるだけ出席すると思います。Uターン就職を希望する人は、自分から動いて情報を集めていくことを特に勧めます。経済、男、公務「最後まで自分の力を信じてがんばってください。また、就職部を大いに利用してください。」

航空・科学ジャーナリスト 中村浩美さんに聞く

和田 中村さんは、航空評論や科学ジャーナリズムの世界で活躍ですが、元々は法学部のご出身ですね。

中村 中学校、高等学校と演劇をやっていた。本当は文学部か芸術学部に行きたかったのですが、ところが担任の先生にその旨伝えようと、内申書は書かないと言われてしまいましたね（笑）。それではと思い巡らしていると、当時私は三島由紀夫の緻密で華麗な文学が好きだったので、確か三島先生も法学部出身だったなと思いついて、法学部もいまいかなと、あまりはつきりとした意図もなく選んだわけです。もちろん、弁護士に憧れた時期もあったし、法学は論理的な学問だから自分に合っているかなとも思っていました。

和田 同志社大学を選ばれたのは、



中村 私の通っていた高等学校はいわゆる進学校でした。できる生徒は北海道大学を目指しなさいという学校で、演劇に熱中していた文学少年の私はそんな体質に反発していました。それに札幌というところは東京都札幌区みたないところがある、って、みんな東京志向が

強くて面白くない。だから、札幌から早く脱出したいと思うとともに、東京では脱出にできないと考えていました。そんなときちょうど、同志社大学から大学説明のための入学ツアーが来たのです。修学旅行で京都の街が気に入っていたし、同志社大学なら札幌でも受験ができるという。よし、京都で勉強しよう」と同志社大学への進学を決意したわけです。

和田 大学時代は、ほとんど演劇で明け暮れたと伺っていますが。

中村 入学当時は、勉強しようという意欲でいっぱいでした。入学式にも、学生服に座布団帽子といういでたちで出席しました。ところが3日目、同志社小劇場のきれいなお姉さんに勧誘の言葉をかけられ、忘れていたはずの演劇という言葉が私の頭の中でむくむくと頭をもたげてきた。以来、同志社大学「演劇部」の生活が始まりました。さすがに1年次の頃は比較的授業にも出席していましたが、2年次になると要領もわかってきたので、演劇にちとぶりと漬かりました。同志社小劇場には春と秋に大きな公演があり、3カ月前からこの公演体制に入り、昼の12時から夜の8時まで毎日稽古が続きます。これは授業に出たくても出られないわけです。

和田 中村さんにとって、課外活動が大学生活であり、青春だった。

中村 浩美さん

【1968年法学部法律学科卒業】

1946年、北海道生まれ。大学卒業後、2年間の公務員生活の後、航空ジャーナリズムの世界へ。月刊『航空ジャーナル』編集長を経て、1984年、航空評論家・科学ジャーナリストとして独立。政府の宇宙開発委員会専門委員を務めたほか、キャスターやアンカーマンとしてテレビにも多数出演。現在は、航空、宇宙開発、地球環境、国際関係など幅広い分野で活躍する。著書には『スペースシャトル』『旅客機大全』『飛行機王国アメリカ探訪』など多数。



中村 和田さんとも1年次生だから同じ思いだと思うけど、入学間もない学生にとつて4年次生といえはまさに雲の上の存在。特に私たちの頃の4年次生といえば、安保闘争の最後の世代で、おまけに5年生、6年生もいる。そういう時代を生きてきた人たちですから、私たちとは経験も時代環境も違いますし、政治や芸術についてとつとつと語る姿は、憧れを通り越してこうこうと輝いて見えたものです。そういう人と出会えたことが、とてもいい経験になっています。

EVEのテーマもかなり観念的で、今でも覚えていますが、石詰の空は嘸下する。ユダの対話への志向」と言うんです。何だかよく分からないでしょう。でも、二つというテーマを提出する人たちが、そしてそれを受け入れてしまっている人たちと同じ空気を吸っていると思うだけで、ああ、僕も大学生になつたんだ」と実感

航空・科学ジャーナリスト
中村浩美さんに聞く

しました笑。同志社小劇場にだけでなく、当時はクラブ活動に熱くなれる何かがあったのでしょね。友情も恋愛も、そして挫折もクラブ活動での出会いを通して経験し、成長していった。そのせいでしょね、私の中に同世代意識というのが今も色濃く残っています。

和田 そんなに情熱を傾けられた演劇も、卒業後はすっぱり止められたのですか。

中村 家庭の事情でどうしても就職しなければならなかったのです。だから卒業後は一旦北海道に帰り、公務員になりました。演劇を止めるにあたっては、「青春を降りるつもりで、舞台を降りよう。そしてこれから、ひとりのファンとして演劇を支えていこう」と自分に言い聞かせました。格好良過ぎますね笑。本当のところは随分悩みました。が、演劇を続けることの意味が見つからなかった。続けたいという気持ちも強かったけれど、同時に時代や世界とつながっていたという思いもあつて、その整合性がうまくとれなかったのです。その後、2年間で家庭の事情から解放され、東京に出ました。

和田 いよいよジャーナリズムの世界に飛び込まれたのですか。

中村 上京したのは1970年で、映像文化が急速に広がりはじめた頃でしたから、映像に進むか活字に進むか迷いましたが、結局、



叔父が編集長をやっていた『航空情報』を出版する酣（たむ）社のお世話になることにしました。と言いつても私に航空工学の素養があるわけではありません。大学では国際法を専攻していて、宇宙法というのがあるのを知り、興味を抱いて勉強していました。当時この分野の研究をしている人はわずか、数少ない文献に当たりながら苦勞して卒業レポートにまとめましたが、これが役に立つのはずっと後になってからのこととです。

そんな私にとって、二人の師に出会えたことはとても大きかったと思います。一人は叔父青木日出雄です。叔父は先程ふれた『航空情報』の編集長であることも、日本における航空と軍事評論の第一人者でした。航空ジャーナリストとして今があるのは、この叔父の薫陶を受けたお陰です。もう一人の師は、日本大学の木村秀政博士です。木村博士は航空工学の權威ですが、少年のよ

うな心を持った方で、私が取材に伺うと、教えるのが楽しくてしょうがないといった様子で、基礎知識をたたき込んでくださいました。航空に関する理工系の学問体系をもたない私がやってこれたのは木村博士のお陰であり、後に科学ジャーナリズムに手を広げることでできたのも、博士の指導で科学的方法論を身に付けることが出来たからだとも感謝しています。

和田 僕は子供のところから飛行機が好きで、将来はパイロットになりたいという夢を追いかけています。ただ、航空機の専門的な知識のない中村さんがそれをどうやって身に付けたか非常に興味があると伺います。



中村 よく勉強しましたよ。ジャーナリズムの世界に飛び込んでからはずっと勉強の連続です。楽しかった。でも、のめり込んで航空オタクになりはしなかった。軸足はあくまでジャーナリズムで、たまたま科学技術の分野にアプローチしているだけだということには忘れなかつたですね。だから航空技術から派生するものにも敏感になれたのだと思います。たとえば1980年代はスペースシャトルの時代ですが、それ以前から私は時代の流れは次に宇宙だろうと勉強を進めていました。さらにそれが地球環境問題、エネルギー問題まで現在は広がっているわけですが、航空工学を専攻し、専門性の高い知識をお持ちの方は、専門性に固執してこうしたフレキシブルな発想が出てこないのではないのでしょうか。

和田さんが志望しているパイロットについても、現在の飛行機はコンピュータが制御しますから航空機に関する技術的な能力よりもS・Fシステムエンジニア的な能力が要求されています。和田さんが目指しているのは民間航空機のパイロットでしたね。

和田 旅客機です。

中村 そうしたらなあさらですね、旅客機の

航空・科学ジャーナリスト
中村浩美さんに聞く

パイロットの場合は判断力や注意力あるいは危機対応能力と、主に関与する格面を重視した養成を行っています。もちろん技術的な訓練が大切なのは言うまでもありませんが、だから和田さんもうるなご

本をたくさん読んで人間性を豊かにした方がいいですよ。

和田 アドバイス、ありがとうございます。中村さんはその後、キャスターとしてテレビにも出演され、しかも、宇宙開発、地球環境、エネルギーや先端技術など幅広い分野で活躍ですね。

中村 『航空情報』で4年間編集に携わった後、退社。叔父たちとともに『航空ジャーナル』という新しい雑誌を発刊しました。こちらに10年間いて編集長も務めました。どうも自分は組織を動かしたりマネージメントするのは向いていないと思うようになりました。その頃になると、テレビでも科学番組が数多く作られはじめました。以前、活字が映像かで迷った経緯もあって、今度は独立して映像の方にも活動の場を広げました。

そうすると学生時代にやっていた演劇の勉強が生かせることが分かってきました。演劇というのは、脚本を読み込まなければいけません。脚本に何が書いてあるかといえ、人間が描かれているわけで、人の内面を知らな

い、いい演技も演出もできません。一方、キャスターやコディネーターも、ゲストやパネリストの発言をふたこと、みこと聞いただけで瞬間的にその人の思考方法や心理を読み流れを作っていくといかないといけない。その他にも、限られた時間の中で起承転結を構成することが盛り上げるための演出とか、演劇で培ったものがいっぱい生かせることに気づきました。また、宇宙法の勉強が生かせるようになったのも独立してからです。

和田 最後に同志社大学の後輩にメッセージをお願いしますか。

中村 先日、30年ぶりに母校を訪れ、「良心碑」を見てきました。同志社大学と言えば、やはり新島精神だと思っし、在学生も卒業生も新島精神の下でつながっていているだろうと思います。その新島精神とは何かといえ、根本のところにあるのはやはり自由の尊重でしょう。しかし、この自由も自分をつかり持っていない者にとっては極めて不自由なもので、それが、良心之全身「充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヨ」という言葉にもつながってくるのだと思います。振り返れば、あれもしたかった、これもしておくべきだったと思わないでもありませんが、夢中になれることがあったし、それができる自由が同志社にあったと思います。私にとっては輝ける青春の4年間だった。だから、後輩のみなさんにもたくさんの人に出会い、たくさんの本を読んで、30年、40年経ってもなお新鮮に胸に残っているような大学生活を送って欲しいと思います。

和田 ありがとうございます。

INTERVIEWER

ひろし
和田 大さん

【経済学部1年次生】

奈良県生まれ。小さい頃から飛行機のパイロットになることを夢見てきた。同志社大学入学と同時に航空部に入部。グライダーの体験搭乗会で、5回の飛行を経験し、鳥肌がたつほど感激し、パイロットへの夢を新たにしたいという。

ジャンボジェット機を飛ばす...中村さんのお話を聞きながら子供の頃の夢を再びふくらませました。

空を飛ぶ飛行機を目で追いながら、「大きくなったら、飛行機を自分の手で飛ばすんだ」と思った子供の頃。その思いは風化することなく、むしろ強く、大きくなっています。それに拍車をかけたのが今回の中村さんのインタビューでした。「好きなことを職業にすることは、幸せなことばかりではない」という話も聞いて、胸につかえるものを感じました。その意図はよく分かります。パイロットとは計器を見ながら操縦桿を握っていればいだけではない。それ以上に、乗客の生命を預かり、目的地まで安全に送り届けるということが、パイロットとして重要な任務であり、そこに求められるのが危機回避につながる判断力や注意力なのだということでしょう。僕の思いは、そういうことも含めて、大空を職場にしたい。10年以上も育んできた夢だから、中途半端な諦め方はしたくないと思っています。

文化創造力がひらく可能性

(読売けいはんなシンポジウム)

国立国会図書館関西館の10月開館を記念して、9月23日同志社新島記念講堂でシンポジウムが開催された。同志社大学、同志社女子大学、読売新聞大阪本社の共催による同シンポジウムには、河合隼雄文化庁長官らが来演。約800人の聴衆は目前に迫った開館への期待を胸に、講演やパネルトークに熱心に聞き入っていた。



安江 明夫氏

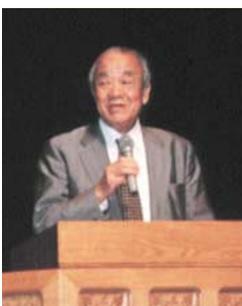
国立国会図書館関西館館長

カナダ・モントリオール大学東アジア研究センター勤務後、国立国会図書館資料保存課長、企画課長、運次刊行物部長などを経て、現職。

河合 隼雄氏

文化庁長官

臨床心理学者。日本神話に関する論文で、日本初のユング派精神分析家の資格を取得。京都大学教授、国際日本文化研究センター所長などを経て、現職。



シンポジウムは、安江明夫国立国会図書館関西館館長によるプレゼンテーションで始まった。プロジェクトをいながら関西館の全容を紹介。けいはんなの自然と調和した地上4階、地下4階の図書館は、開館時に3200収容能力は600万冊の蔵書を有し、館内サービス、遠隔サービス、電子サービスを提供してくれる。東京本館に対し、科学技術関係とアジア関係資料が充実しているのが特長で、貸し出しは行われないが、納本制度により国内で刊行される図書が揃う国立国会図書館ならではのメリットを来館者は享受できる。

続いて、読書の楽しみとについてテーマで、河合隼雄文化庁長官が講演。自らの読書体験や臨床心理学者らしい実例をまじえた軽妙な話術で会場を湧かす。子供たちから大人まで、本を読まなくなった日本の現状に警鐘を鳴らし、モノの満ち足りた時代だからこそ、心を豊かに育てなければならぬという同長官の言葉には、一同がうなずいていた。

プログラムの最後は、作家の荒俣宏氏、高村薫氏と国際日本文化研究センターの川勝平太教授を迎え、渡辺

武達文学部教授を進行役にパネルトークとばの力「情報の生かし方」が行われた。一市民の立場で図書館を利用してきたという高村氏は、30年前の物価と共同溝の地図など、インターネットで得られない情報に巡り合える図書館の魅力を語る。川勝教授は、大英図書館やオックスフォード大学図書館での体験をもとに納本制度や開架図書館など英国が育んできた図書館文化を紹介し、本の虫を自認する荒俣氏が、第二次大戦中も閉館することのなかったドイツのフンボルト大学図書館や空襲のさなかにも営業を続けたロンドンの古本屋の逸話から、どんな非常時でも本が読みたいという人間の性とそれを可能にする環境のすばらしさを語った。

さらに、インターネットに代表されるデジタル時代の情報の価値について意見が交わされた。インターネットやテレビが提供するものはあくまで情報であり、私たちはそれ



渡辺 武達

文学部教授
専門分野: 情報・メディア論

を自分の言葉、感情、創造力で取り込まなければいけない。司会の渡辺教授は、関西館には、情報の集積という意味で大きな期待が寄せられるが、知を創造する拠点とするためには、私たちがこれを生かし、もり立てて行くことが必要だ」と結んだ。



高村 薫氏

作家

大学ではフランス文学を専攻。商社勤務を経て、「黄金を抱いて翔べ」で作家デビュー。「マークスの山」で直木賞を受賞。その後も現代社会を背景にした作品を続々と発表。



川勝 平太氏

国際日本文化研究センター教授

専門分野は比較経済史。海洋アジアの視点から日本と西洋の経済発展史を捉え直す。早稲田大学教授を経て、現職。「文明の海洋史観」など著書多数。



荒俣 宏氏

作家

会社員、翻訳家を経て、作家に。神秘学、博物学に造詣が深く、ピプリオマニア(愛書家)として知られる。ベストセラー小説「帝都物語」などの文筆活動のほか、多方面で活躍。

不正競争防止法を掘り下げる

～知的財産法の研究

知的財産法を研究する井関ゼミでは、秋学期から個人の関心に応じてテーマを選び、グループを作って発表している。今回は、知的財産法の一つである不正競争防止法がテーマ。この法を様々な角度から考察し、共同ゼミ論文の作成に向けてテーマを発表して議論する。その模様の一部を紹介する。



井関 涼子 (法学部助教授)

周知性の地域的範囲について

笠井 今日ば、前回取り上げた不正競争防止法の第2条1項1号および2号のうち、1号についてもう少し掘り下げてみたいと思います。不正競争行為と認定されるにはいくつかの要件を満たさなければなりません。同号の要件の一つに、「周知性、つまり商品などの表示が必要者の間に広く認識されている」という要件があります。ここで周知性が認められるとは、一体どういう状況なのか、いくつかの側面から考えられますが、「地域的範囲」に絞って調べてみました。

まず、「広く認識されている」の「広く」とは、「全国的」と解釈すべきかという問題があります。ここで参考になる判例が、「勝烈庵事件」です。同事件では、原告である横浜市のとんかつ屋「勝烈庵」に類似した名称が、鎌倉市と富士市で使用されましたが、鎌倉市では周知と認められ、富士市では認められないとされました。このことから、必ずしも全国的に認識される必要はなく、ある地域で

認識されていれば足りると判断できません。

次に、請求権者の商品などの表示が、相手方の営業地域などでも周知されている必要があるのか、を考えてみます。結論から言えば、周知であることが必要です。参考になるのが、「天一」事件です。東京都内の老舗の天ぷら料理店が原告です。同料理店の名称が、被告の所在地である群馬県太田市においては周知ではなく、使用差し止めの請求が棄却されました。

続いて、請求権者と比べて相手方の商品などの表示の方が、より広い地域で認識されている場合はどうかという問題です。静岡県内で痩身美容を営む原告の名称に比べて、同業社の被告の方が全国的に認識されていた『シットスリムクリニック事件』が参考になります。この判例では、静岡県内においては原告の名称が周知と認められ、原告の名称が保護されるべきであると判断されています。

井関 原告の方が先にこの名称を使用していたのですか？

笠井 はい、そうです。

本永班 ある地域で周



笠井さん



不正競争防止法を掘り下げる ～知的財産法の研究



知性が認められればよいというのと、相手方の営業地域などで周知性が認められなければならぬというところの關係性がよく分らないのですが。

笠井 まず、請求権者の商品などの表示は全国的に周知される必要はなくある地域で認識されていればよいわけです。そのある地域がどこかといえば、相手方の地域になります。結局、相手方の地域で周知されているかどうか重要ですね。

井関 例えば、今出川キャンパスのすぐ近くにある下口なお店「わびすけ」で考えてみたところどうでしょう。今出川と京田辺の両キャンパスの間で、同大生の間で、同店は有名ですが、京都府全体ではあまり知られていないとします。つまり両キャンパス周辺を除いた地域では周知とはいえず、「わびすけ」の名称を使用されても、同号の適用は難しく

なるけれど、今出川と京田辺の同志社の近くで「わびすけ」という店を出せば不正競争になり得るといっています。

それから笠井君には、周知は「地域、著名は全国と、必ずしも言い切れない1号の周知」と2号の「著名」の違いについてもう少し突込んだ研究をしてほしいですね。

「デッドロバー」について



平井さん

平井 前回、あまり取り上げられなかった2条1項3号の商品形態模倣行為、いわゆる「デッドロバー」について発表したいと思います。同号では、販売開始から3年以内の商品の形態を模倣すれば不正競争にあたります。「商品の匂い」はおおむね3年ほどとされているにもかかわらず、特許法や意匠法では審査に膨大な時間がかかり、権利保護にタイムラグが生じてしまいます。無審査で保護を受けられる同号は、迅速さが特徴で、工業所有権法などの隙間を埋めています。

同号の適用が難しいのは、「形態」と「模倣」の範囲です。形態については、「トロンボス事件」が参考になります。外から認識できない「トロン」内部にある「断熱ホース」は、商品形態にあたらぬとされた判例です。「こ」でいう形態には、内部は重要ではないことになりましたが、これは検討の余地がありますね。次に、模倣の範囲については、「トロン」シリーズ「キーホルダー事件」が参考になります。人気漫画「ドラゴンボール」を参考にして、剣に電が巻き付いたキーホルダーの製造、販売

を行っていた原告に對

し、被告は頭部を2つにするなどの改変を加えて後から製造、販売しました。裁判所はその改変に対し、資本と

労力が投下されたことから、別商品となっており、「デッドロバー」には当たらないと認定しました。つまり資本と労力の投下があつたかどうか重要だといつわけですね。

藤井班 資本と労力の投下が認められれば、多少の改変であっても「デッドロバー」にならないのでしょうか。

平井 その問題です。今後検討する余地があります。

井関 同号の「デッドロバー」とは、「酷似」つまり「そっくり同じである」ことを言いますが、例外的に、少々改変があつても、実質的に同じものであれば含まれます。どこまで含まれるかについては、商標法でいう類似性などと判断基準が違います。消費者が見て、まちがうほど似ているか、ということではなく、後発者の改変が労力を要するものかどうか重要になる点が大きな特徴です。平井君には論文でぜひ同号の立法趣旨を書いて欲しいのですが、新商品を努力して開発し市場に出したのに、費用や労力を要しない後発者が市場で競合してくるのでは、先行者は投下資本を回収できず開発意欲をなくしてしまつていってしまうことですね。つまり先行者利益を模倣者から保護しなければならぬということですね。不正競争防止法は、どちらかといえば法の谷間を埋める趣旨があり、工業所有権法や著作権法では、カバーできない部分を担っています。



新島襄の旅した風景

特別編

アメリカ(マサチューセッツ)

本井 康博

私のマサチューセッツ紀行

アメリカ北東部、ニューイングランド。ワイルド・ローヴァー号でボストンに入港以後、新島襄のこの地での生活はアモストの3年を含めて8年におよぶ。その間、船主のA・ハーデーは親のように、船長のH・S・テイラーは兄のように新島をかわいがってくれた。ふたりはともにコッド岬の出身である。今回は特別編として、彼らにゆかりのある土地を中心に筆者が訪れたマサチューセッツを紹介する。

3年ぶりのアモスト

日本庭園はふたつのビルに挟まれて窮屈そうだった。アメリカサイズの「坪庭」と見れば

それも乙か。それに道路脇の土手のような場所があるので高低差も相当ある。刈り込まれた松、それに京都から運びこまれた江戸時代の石灯籠が目を引き、夜明け前の雨で



旧マウント・ヴァーノン教会。ここで「牧師・新島」が誕生した(ボストン)

苔も松も生氣を取り戻した感がある。ともあれアモスト大学における新しい同志社名の誕生だ。開園式のプログラムにはアモスト大学と同志社の校章シールが並べて印刷されていた。新島襄が日本人として初めてこの大学に入学して以来、すでに135年が経つ。1世紀をこえる同志社との交流を記念して、今回アモスト大学は日本庭園の建設を決めたのである。それにこたえて同志社アモスト館の関係者を中心に同志社側も建設費の一部を負担した。設計はボストンの「禅アソシエーツ」社の阿部紳一郎氏。そういえば、さるアメリカ人は、「ゼンガーデン」と呼んでいた。だが正式名称は、「友志園」である。「同志園」や「清志園」も下馬評にあがったらしい。「志」を入れることは最初からの方針のようだった。



アモスト大学に造園された日本庭園「友志園」



ジョンソンチャペルに掛けられている
新島の肖像画

「実は光志園にしたかった」と名付け親ともいべきレイ・モア教授が流暢な日本語で「『そり』と打ち明けられる。『でもね、甲子園とまちがえられてもねえ』と苦笑された。教授はこのあと四国を訪ね、1カ月間、ヒルクリムお通路さんします」といっほどの日本通である。

開園式は2002年9月23日正午。庭園を前にして、八田英二(工学)長への名譽学位授与式と併せて行われた。庭は新島襄がかつて住んだノースカレッジ、彼の肖像画が今も掛けられているジョンソンチャペルと同じ並び(南方)にある。その意味ではロケーションとしては申し分ない。

私の訪問(19日)であった(は)ひとつには新島の肖像画(A・E・スミス作)を11月に同志社に借り出す交渉のためであった。このチャペルは前回の訪問時(1999年)も、今回の滞在中もいつ行っても人影がまるでない。が、今回、一度だけキャンパスツアー説明会にぶつかった。ただ、参加者は目の前の肖像画にはまるで関心がなさそうだった。

無関心と言えばW・S・クラークも、である。「少年よ、大志を抱け」を知らない日本人は稀である。が、アメリカでは彼の出身地、ア

ーモストでも知る人はまずいない! 彼が学長を務めた今のマサチューセッツ州立大学所在地は(アーモスト)ですら事情は変わらない。学内に「クラークホール」が現存し、さらに最近には「W・S・クラーク・メモリアル」(日本庭園をモチーフにした)というが、なんとも奇妙なデザインであるが新設された、にもかかわらずである。

それだけにアーモストの墓地で彼の墓にアクセスするのは旅行者には一苦労である。文豪、E・ネイツキンソンの墓のように立派な柵はもちろんない。3年前の探検で失敗しているだけに今回はあらかじめ「地図」を用意。そのおかげでようやく、発見にこぎつけた。このクラークは、私の最初の日本人生徒(新島を可愛がった。札幌からアーモストに帰る途次、わざわざ京都に立ち寄って)。新島もまた2度目の渡米の(1885年)には、失意の底に沈んでいたクラークをアーモストの自宅に訪ねて、恩師を感激させている。



チャタム歴史協会で展示中の「ワイルド・ローヴァー号」。
S.グレイ理事長と筆者

新島がたびたび休暇を過ごした
テイラー旧邸(チャタム)



新島が潮干狩りやラテン語の学習をしたチャタムの海岸



ふたりは種子の交換にも熱心であった。新島がクラークに送った日本の松の成長振りが見たくてアーモスト大学と隣接する州立大学との間を徒歩で往復してみた。2本あった。いずれも大木である。一方、新島もクラークから送られた(エルム)の種子を同志社チャペル前に蒔いた。が、彼の死後、枯死してしまっただけ。その際、記念に作られたエルムの鍋敷きが一枚、同志社に現存する。

初めてのチャタム

ここでクラークに限らず、新島は多くの善き後援者に巡り会った。入国に際してはH・S・テイラーとA・ハートデーである。前者



往時の姿そのままの旧ハーディー邸(ボストン)

は新島を上海からボストンに運んだワイルドローヴァー号の船長で「ジョー」の名付け親。後者はその船主で新島のいわば「養父」である。二人ともボストンからほぼ140キロ南のワッド岬東端にあるチャタムの出身で、ここは当時は漁業、今は観光主体の村(人口6700人)である。新島は4度も船長の実家を訪ねている。

チャタム歴史協会はワイルド・ローヴァー号の油彩画(協会による自己評価額はなんと5万ドル)とテイラー一族(新島も家族扱いされている)の組写真を所蔵する。これらも新島襄の肖像画とともに11月に学内展示できることになった。私は23日にアイモストを降りてチャタムに入り、その打ち合わせをした。翌日にはテイラーの墓と旧邸をタクシーで探した。まず墓であるが、船長は新島の留学中にボストン港で事故死して、故郷に葬られた。だが私が訪ねてみると墓地には管理事務所も案内表示もない。そのうえおりからの土砂降りのためロケット番号を日本で入手していたにもかかわらず、搜索は諦めざるをえなかった。が、幸いにも改葬された墓が別にボストン郊外(フォレスト・ヒルズ)にある。同じく

ボストン郊外の墓地(マウント・アーヴァン)にあるハーディー夫妻の墓ともどもに翌日に詣でて、積年の夢をかなえることができた。それにしても墓地はどこもバカ力かい。巡回バスがほしくらいだ。

次にテイラーの旧邸であるが、ノースチャタムにある。テイラーが死去した翌年(1870年)に屋敷はケンドリックなる人物に売却されたので、以後、新島の足もチャタムから遠ざかる。今はケンドリック通りと呼ばれる旧邸前の細い道路はこの国では珍しく舗装されておらず、鬱蒼とした森の中に家屋が点在するさまは、まるで避暑地の別荘である。行き当たりは浜であった。夏休みをここで過ごした新島は喜々として手紙に書く。「昨日は浜に行き、ハマグリを30数kg採りました。明日は晴ればブラックベリーを採りに森に行きます」と。

21年ぶりのボストン

その後、私はハイアトピアに戻ってバスに乗り継ぎボストンに出た。ボストンでは海沿いのパークエス通りの旧海員クラブが予想通り取り壊されて新しいビルになっていた。このパークエス通りの建物、場所は別であるが、新島がワイルド・ローヴァー号を下船して3日間滞在していたわけ、脱国の理由書を書き上げた所である。これを読んで新島の志を理解し、彼の養父母になる決心をしたのが船主のハーディーとその妻である。彼らはたまたまに新島をローコンドールの自宅(21年前に訪ねた時と同じ佇まいであった)に迎え入れた。新島は密出国者から晴れて留学生に転身できた。それもこの海員

著者プロフィール

同志社社史資料室
本井 康博さん

1958年同志社中学校卒業。
1961年同志社高等学校卒業。
1969年同志社大学大学院経済学研究科修士課程修了。
現在、同志社社史資料室勤務。
文学部嘱託講師・同志社教会責任役員をも務める。
2度(1994、2001年)にわたって新島研究功績賞を受賞。
著書は『京都のキリスト教(1998年)』『新島襄全集を読む』(共編、2002年)、『同志社山脈』(共編、2002年)、『新島襄と徳富蘇峰』(2002年)ほか。

本井で作成した書類のおかげである。

それから9年。新島はボストンで今度は神学生から牧師へと進化化する。場所はケンブリッジ橋南詰のマウント・ヴァーノン教会。今では塔と外壁が残るだけで、内側はマンションの高層ビルに建て替えられている。新島はここで正規の牧師の資格を得るための按手礼を受けて、翌月、帰国の途に就く。ボストンで始まった新島の留学生活は、その仕上げもボストンであった。

ちなみにこのボストンにも日本庭園が存在する。ボストン美術館にある岡倉天心ゆかりの「天心園」である。さすがに立派で、友志園の比ではない。天心といえは、新島と交流のあった政府高官、九鬼隆一の夫人との不倫で騒がれた人物でもある。それはともかく「友志園」から「天心園」へ1週間の駆け足旅行である私の新島ヒルグリム(マサチューセッツ篇)はこうして終わった。それにしても新島はあの時代、なんと遅くも遅くまで足を伸ばしていることが。

イスラエル・パレスチナ衝突 と発掘調査中止

1992年から2年ごとメギドでテルビブ大学による発掘調査が行われてきた。今年2002年は調査の年に当たると、メギドはイスラエル北西部に位置するテル遺跡丘である。メギドという地名を聞いたことがなくても、ハルマゲドン(ヨハネの黙示録16・16)は知っているはずである。ハルマゲドンは、メギド(メギドの丘)というヘブライ語を音訳したギリシア語である。これは、紀元1世紀にはすでにメギドが古戦場としてよく知られていたということだろう。このメギドは、古代のパレスチナ地方を研究する上でたいへん重要な場所であり、1900年代から何度もここで発掘調査が行われてきた。

発掘調査期間は6~7月。一昨年、春学期中であるにもかかわらず、約3週間参加させてもらった。今年も同じようなスケジュールを考えていたが、やむをえない事情で断念しなければならなかった。ところが6月に入ってから、発掘調査の開始が7月に変更され、最終的に調査は来年に延期となった。原因は最近のイスラエル・パレスチナ衝突の激化である。6月5日朝にはメギドの発掘現場近くの国道でパレスチナ人過激派による自爆テロで路線バスが爆発全焼し、多くの死傷者が出たという事件があった。発掘調査にはアメリカ

やイラクからの多くのボランティアが加わる。そのうちの大部分は夏休み期間中の大学生である。誰もが巻き添えになる可能性があり、安全面を考えると延期せざるを得なかった。7月31日にエルサレムにあるヘブライ大学での爆発テロでは死者が7人、そのうち5人が外国人であった。

メギドに行かないかわりに、7月下旬から行われる日本聖書考古学発掘調査団によるガリラヤ湖東岸にあるエン・ケヴ遺跡発掘調査に参加することになった。レポートや試験などをいつもより早めに終え、準備も済ませていたが、出発直前になってメギドと同じ理由で発掘が中止となった。その時すでに日本を出国していた隊員もいたが、イスラエルの日本大使館から調査延期勧告が出されたため、調査団は中止を決定したのである。その少し前に、ガザ市の住宅地へのイスラエル軍の攻撃で多くの死傷者が出て、イスラム原理主義組織のハマースが報復攻撃を宣言したことが、調査延期勧告の直接の理由と思われる。

2000年9月28日からのイスラエル・パレスチナ衝突の激化により、今年の9月26日までに死者は2519人、イスラエル側622人、負傷者は2万人以上、イスラエル側約4600人(にも)のほろ毎日新聞 東京版 2002年

9月27日朝刊より)。こうした状況の下、今年予定されていたイスラエル・パレスチナでの発掘調査の大半は中止・延期となった。来年の調査が行われるかどうか現時点では分からない。何よりも現在の衝突がそのまま続くことが恐ろしい。これはある特定地域の問題ではない。この問題は多くの他の問題を生み出す原因となってきた。イスラエル・パレスチナ衝突が日常化してしまうことは、他の問題も日常化してしまうことだ。私は12月下旬から1月上旬にかけてヨルダン遺跡踏査に参加する予定である。その際に、パレスチナ難民を多く受け入れているヨルダンの地(ヨルダン川の東側)からイスラエル・パレスチナ問題を考えたいと思っている。隣国イラクへのアメリカの攻撃によりこの踏査が中止とならなければよいのだが。



越後屋 朗
Echigoya Akira

神学部助教授

1958年秋田県生まれ。
1982年同志社大学神学部卒業。
1994年バンダービルト大学 ヘブライ語聖書専攻博士課程修了。Ph.D.
1992年同志社大学神学部助手として入社。専門分野はヘブライ語聖書(旧約聖書)。研究課題はヘブライ語聖書の成立過程の解明とメギド発掘調査。

CAMPUS NEWS

キャンパスニュース

学生会館について

学生の文化活動の拠点として、新町校地の新町北別館跡を中心に「学生会館」が完成し、秋学期の開講と合わせて利用が開始された。



従来、学生の諸活動の重要な拠点でもあった学生会館は現在取り壊し中である。そもそも竣工当時は学生の課外活動の拠点として「東洋一」との呼び声高い立派な機能を有した施設であったが、30年もの歳月を経たこともあり、学生を取り巻く状況の変化と建物自体の老朽化から99年の「会館のあり方についての検討委員会」や2001年の学友会・別館委員会との話し合い、一般学生対象の「パブリックヒアリング」を積み重ねて、今回の建て替え・移転（別館部分）となったのが経緯である。

名称や愛称の使い方がややこしいが、今回、新町校地に完成した新しい学生会館は、「旧学生会館の別館部分」「新町北別館（部室）」を解体し、「これら」を新たに統合させて新築し、さらに「新町別館」(総合練習場)と通路を渡して合体させるといつかたちで完成した。つまり学生の主体的な運営に基づく課外活動拠点は、学生会館の建て直しを機に3拠点から1つの拠点に集中したといつことになる。

同志社大学には2002年現在で(体育系も含め)167人(約5800人)の公認団体と190(約5500人)もの任意団体がある。学生のクラブ・サークル離れが叫ばれて久しいが、本学においては「それだけの数の学生が授業以外の場面で仲間と共に何かを見つけてようとチャレンジしている状況がある。クラブ・サークルに与っての様々な逆風



吹き抜けになっている中庭のオープンスペース



シャワー室

を考えると、この状況を乗り越えてなお課外活動が維持発展していることは大変喜ばしいこともある。さらに言えば、大学生活に占める課外活動の意義を考えた時、学生の「自主活動」という側面を最大限引き出すために、大学も積極的に課外活動をバックアップすることも視野に入れ、課外活動がさらにキャンパスへの学生を活気付けさせる原動力になっていくことも願っている。

新しい学生会館は全館に冷暖房を完備し、カフェやシャワールームも備えている。

クラブ・サークル員のほか新町校地で講義を受ける一般学生がくつろげるようなラウンジが1階にあり、吹き抜けのオープンスペースを含め、総じて開放的な風通しのいい空間である。外壁はレンガタイル張り、建物内部はグリーンとホワイトで塗装されており、落ち着いた雰囲気の中、様々な目的をも

つて集まった学生たちの自由な空間として機能することが期待されている。

一方、2004年にオープンする大学会館の施設には、ホールはもちろんクラブ・サークルだけではなく個人や広く一般学生の利用者を想定した設備や運営方法を検討している。両者合わせて、学生が大学の中心であり、学生が大学を活性化させるのだ」という観点から、その建物自体ではなく、建物を拠点に学生から発信される情報やエネルギーに関心を持っていきたい。

「学生会館」資料

構造 鉄骨造 地上6階、塔屋1階

部室 151

倉庫 22

練習場 14(音育)

会議室 大1 中8 小1

ラウンジ、シャワー室、テナント共生協新町カフェ、オープンテラス、印刷室、クライミングウォール設置予定)

全館冷暖房完備

新町新学生会館の食堂兼購買店舗(新町カフェ)がオープン

新町新学生会館の建設にあたっては、学生からの要望や意見などを取り入れて設計した。学生からの要望の中にあった食堂または「コンビニ」を入れて欲しいとの声を受けて、設計段階では、「カフェ・レストラン」を計画した。



他大学の食堂視察や候補店との交渉などを精力的に行ったが、立地条件と店舗面積等の関係から本格的なカフェ・レストランは実現できなかった。

そこで、学生のニーズに応え、かつ新学生会館にふさわしい店舗として同志社生協による軽食堂兼購買店「新町カフェ」(仮称)を10月1日からオープンした。

上立売通に面したお洒落な外観とエントランス、明るい店内は、学生たちに早くも大人気となっている。また、学生会館の中庭からのサントランスは、バリアフリー設計の床と軽く開閉できる横開きドアを設置した。中庭のオープンテラスに置かれたハイセンスなテーブルと椅子も新町カフェの多彩なメニューを楽しみながら学生たちが語り合う憩いの場となっている。

新町カフェでは、大学会館食堂が閉店となり、特にランチタイムの食事が心配な学生のために、たっぷりと時間

をかけて煮込んだ「我家のカレー」やボリウム満点の焼肉カルビ丼、チキン竜田丼、レヒンバ丼、牛丼、天丼など充実の御飯もの、フレッシュなサラダ類、コヒー他各種ドリンク類、パフ、アイスクリームなどデザート類などをすべてテイクアウトで提供している。これらのメニューの他、購買としてハンサムドイッチとおにぎり、弁当などや文房具類も置いてある。

生協では、これからも学生の希望を取り入れた新メニューや品揃えを工夫していく予定である。

新町カフェの営業時間は、左記のとおり。学生会館内には自動販売機「トナー」もあり、ドリンク類とカフェ類の販売を行っている。新町カフェが閉店している時間帯にも学生が飲み物や軽食を利用できるようにしている。

【開講期間中の新町カフェの営業時間】
平日 10時～21時
土曜 10時～18時



スポーツフェスティバル開催



10月25・26日、昨年度まで体育会本部が主催していた「体育祭」を体育会本部・学生課・一般学生でつくりあげる「スポーツフェスティバル」として開催した。従来のサッカーやバレーボールなどの種目だけでなく、「誰でもできる」「一人でも参加できる」「新しいことへの挑戦」をコンセプトとして乗馬体験、アーチェリー体験、射撃体験、護身術講座、ストラクアウトや大玉転がしなどのアウトドア種目が行われた。また、京田辺市・教育委員会からの後援を受け、地域住民の方が参加できる「大イベント」となり、商工会からよさこい踊り、着物体験「トナー」、宇治茶の「トナー」などの模擬店の出店や、ゲートボールを通じて地域のお年寄りや学生がふれあう姿が見られた。2日間でのべ3000人以上の参加があった。

また、このスポーツフェスティバルの



一環として、サッカー解説などテレビでもおなじみの元Jリーガー、中西哲生さん(92年、経済学部卒業)の講演会が10月9日、京田辺キャンパス多目的ホールで行われた。挑戦「プレーヤー・ジャーナリスト」二つの視点から見たスポーツの世界」と題し、4人の学生たちの質問に答える形で、勝負の厳しさ、日々努力することの大切さを熱く語った。

同志社大学山岳会が ネパールのシェルパ族に 学生寮を建設・寄贈

同志社大学山岳会は、これまで数多くのヒマラヤ山系の未踏峰の山に挑戦し、初登頂してきた。1960年のアビ(7132m)、63年のサイバル(7040m)、70年にタウラギリ(8172m)、81年にスークーニヤン(6250m)、85年にはナムズ(7694m)、88年はカン(7055m)、今回2002年はロインカン(6889m)はJALの



これらの輝かしい成功は、シェルパ族の人たちの献身的な協力があったからこそ達成された。シェルパ族に恩返しをする目的で、2002年に同志社大学山岳会(会長平林克敏)が、ネパールのソロンブ地方のネレストの麓にあるクムジュン村に学生寮を建設・寄贈した。この村には大レストに初登頂した英国のヒラリーが寄贈した小中学校があり、現在350人の生徒と15人の先生で授業を行っている。周辺地域には6校の小中学校があるが、中学校はクムジュン村のみにある。学生寮が15人分しかなく不足していた。ベッド数を60床ほどに増やすために既存の学生寮の改築がこの5月に、また新しい寮が9月20日過ぎに完成した。

シェルパ族は、普段は痩せた高地で畑仕事や放牧で生計を立て、夏季の山

岳ガイドや運搬で現金収入を得ている。政情不安により観光収入も激減し、貧しい生活をしている。山岳会が学生寮を寄贈することで、将来、有為な人材を育成することが可能になる。(体育会山岳部部長・商学部教授 太田進一)

スポーツ工学国際会議 で受賞



本学大学院の岡村昌浩さん(工学研究科機械工学専攻博士後期課程2年次生)が9月に京都国際会議場で開催された第4回スポーツ工学国際会議で35歳以下の優秀な研究者に与えられるYoung Investigator Awardを受賞した。選考は、論文内容、発表の優秀さ、質疑応答の正確さと態度など覆面審査員によつて厳正に行われ数十人の候補者から5人が選ばれたものである。岡村さんは前期課程から機械力学研究室小泉孝之、辻内伸好教授)で人体の揺動や振動特性を明らかにするバイオダイナミックスの研究に取り組んできた。今回の論文はその成果の一端であり、新しい観点から運動時



う自信も加わり、受賞者中唯一の日本人として栄誉を得た。

また、会議中開催された公式パングェットにおいて本学邦楽部部長 瀧田輝己(商学部教授)の賛助出演があり、部員約10人(琴、三弦、尺八)による邦楽演奏が実施された。多くの海外からの参加者や同伴者によつて伝統芸能を知るまたと無い機会となり、大会主催者からも謝辞が寄せられた。

松蔭寮をリニューアル

2001年度から、学生寮の修繕工事と修繕不能な学生寮の廃寮、在寮生の移転を含めた学生寮の統合・整備を進めてきた。中でも一番大規模なりニューアル工事となつた松蔭寮(女子寮)の改修工事が、8月から約2カ月をかけて行われ、9月25日に大学へ引き渡された。食堂や浴室、学生厨房等が一新され寮生活の快適性を相当に向上させることができた。また、居室及び駐輪場の増設、各階ロカールの新設によつて、20人近くの増員がはかれ、定員72人の学生寮に生まれかわつた。



今年度で廃寮となるベタープラザ寮、鴨東寮、北志寮の各寮生の移転を含めて来春には寮定員の充足をはかる予定。

9月28日にはリニューアルを記念して、大学関係者と工事関係者、同志生協関係者、そして松蔭寮と社園寮・此春寮・北志寮・鴨東寮の各寮生など多くの方が参加して、松蔭寮食堂で記念会が開催された。八田大学長、森田学生部長の挨拶に続いて、寮長の渡瀬めぐみさん(法学部3年次生)が寮生代表としてスピーチし、寮生から大学長および工事関係者へ花束贈呈が行われた。

体育会バレーボール部 初の海外遠征

体育会バレーボール部は8月5～14日の間、オーストラリア遠征を行った。バレーボール部はここ数年3部残留圏続きで、毎年同じ練習で夏休みを消化していた。そこで、違った環境で何かを得



ようとして海外遠征を考え、西豊州学生選抜の体格は皆2m近いが技術はそれほど高くなく、総合的には差はなかった。高さのある攻撃に対し、不足しがちだった守りの意識が向上し、粘るバレーができ始めた。また結果は出ていないが、海外遠征での収穫は十分にあったと思う。また、体育会本部でも各部にこういった動きができることを期待しているようだ。

体育会バレーボール部
脇坂 純(商学部3年次生)

卒業生の集い「ホーム カミングデー2002」 華やかに開催される

11月3日の恒例行事となったホームカミングデーが昨年を大きく上回る卒業生や一般の方々を迎えて盛況のうちに開催された。

木枯しが吹き、気温も低めであったものの晴天に恵まれ、開始前から来校者が待ちかねたようにキャンパスを訪れた。10時の開会式をもち、スタートした構内では、旧友との再会を喜び合っつ歓声や、久方振りに訪れた思い出深い校庭の風景や、建物に見入る感慨ひとし

2002年度資格試験など合格ランキング

司法試験最終合格者
大学別ランキング(上位10校)

順位	大学名	合格者数
1	東 京	246
2	早 稲 田	185
3	慶應義塾	110
3	京 都	110
5	中 央	104
6	一 橋	45
7	大 阪	29
8	上 智	28
9	同 志 社	26
9	明 治	26

公認会計士
第2次試験合格者数(ベスト10)

順位	大学名	合格者数
1	慶應義塾	183
2	早 稲 田	140
3	中 央	94
4	東 京	75
5	一 橋	54
6	明 治	39
7	神 戸	38
8	京 都	37
9	同 志 社	33
10	関西学院	28

不動産鑑定士
合格者数(上位10校)

順位	大学名	合格者数
1	早 稲 田	35
2	慶應義塾	29
3	中 央	17
4	同 志 社	15
4	立 命 館	15
6	明 治	13
6	日 本	13
8	東 京	12
9	法 政	11
9	専 修	11

司法試験管理委員会発表の本学合格者数(26人)の中には、飛び級により大学院法学研究科へ進学した合格者(1人)は含まれていない。

弁理士試験最終合格者
合格者数(ベスト10)

順位	大学名	合格者数
1	京 都	26
2	東京工業	25
3	京 東	21
4	大 阪	20
5	早 稲 田	17
6	慶應義塾	15
7	名古屋	14
8	東京理科	13
9	東 北	11
10	同 志 社	9
10	北 海 道	9

おの表情など、この日ならではの光景が随所に見受けられた。また、昨年から始まった同志社の建物をデザインに取り入れた絵画の記念品は大変好評で、今後も続けてほしいとの声も聞かれた。「精神(ニコ)に帰る一日」であった卒業生は、来年の再会を約しカレッジソングに送られて夕刻の母校を後にした。



トピックス
TOPICS

NHK連続テレビ小説「まんてん」の
脚本家 マキノゾミさん、
出演者 生瀬勝久さんは本学卒業生

マキノゾミさん

本名は牧野望。1984年文学部卒業。在学中は演劇サークルで芝居演けの日々。卒業を機に仲間と劇団M.O.P.を旗揚げ。1989年より本格的な劇作を開始。第45回芸術選奨新人賞、第49回読売文学賞他受賞歴多数。One Purpose(1995.10)同志社人訪問」に登場していただいている。

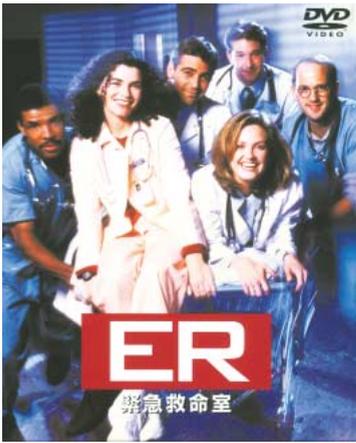
生瀬 勝久さん

1986年文学部卒業。在学中から漫才、落語に活躍。1983年劇団そとばこまち入団、1988年第4代座長となり、作者、演出家として活躍。また、俳優として、映画、テレビ、ラジオで活躍。

DVD

浦坂 純子

【文学部助教授】



『ER 緊急救命室 ~』

主演：アンソニー・エドワーズ、ジョージ・クルーニー
発売元：ワーナーホームビデオ 定価4,980円

「明日も生きていける、明日も生きてみよう」

お元氣ですか。京都ももうきり朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。そちらはもう雪景色がもしれませんね。ERのクリスティー・ヤード、毎回とても楽しみにしているのだけど、シカゴの真冬って本当に寒そう。でも、コートと襟元がフリフリ入用のフロッチなんかを飾って、暖かそうな帽子とブーツでぎめて街を歩いてみたいな。

実は、そのERを皆さんに紹介することになりました。とっちらいのよね。94年にアメリカで始まった医療ドラマで、クライトン&スプリングの超大物コンビがプロデュースエミー賞を総ナメにするほどの質と人気を誇り、そのリアルさは医学論文で取り上げられるほど、タグとジョーシクルーニーは、レド・ブレイク、現在第シーズンに突入、サリー・フィールドら有名ゲストも多数出演、能書きはこれでひとまずOK?

大学の先生としては、教育的配慮も必要かしら。医療に直結することだけでなく、麻薬、銃、暴力、虐待、過労死、自殺、偏見、差別、

介護、離婚、家族の問題……。こうして並べるとERがいかに社会的なメッセージ性を色濃く持っているかを実感します。看護師のストライキが引き起こした輸血ミヌや、人件費削減のために解雇を迫られるキャロルの苦悩なんて、講義中しゃべるのに疲れたら見せたくなくてしまつもの。そうそう、ルシーが統合失調症の患者に殺されるエピソードがあったのでしょつ。それをNHKが突然放送中止したので、随分と物議をかましたということもありました。つい最近のことです。

ドラマだと分かっていても、登場人物にはどつぶり感情移入してしまつ。特に女性陣。どれだけ深刻な状況でも、生きることに深く懸命に立ち向かう姿に励まされる人はきつと多いと思う。エリザベスのような大人の女性に憧れるけど、まだまだ修業が足りななくて笑われそうね。浮かんでくるのは、救急搬入口や屋上、シカゴ川の川縁、高架鉄道の駅で交わされた会話の数々。誰かが苦しんでいれば、誰かが必ずそれに気づいてさりげなく声をかけて、仲間っていいな。ERに行けば必ず誰か仲間がいる。ここが私の家っていつ台詞があったけど、本当にそういう感覚があるのかもしれないね。私の仕事は孤独の要素が強いから、何だかとても羨ましくて。

心に残る台詞や場面は数え切れないけど、思いつくまま挙げてみようか。ピーター・ベントンはそんなにやわじゃないでしょう。ジエドのあふれる気持が優しい言葉。そのジエドにケリーがかけた、辞めないでくれ、てよかった。あなたが救える患者は大勢いる

の。ルカに私は特別かと思っていたなんてさつとさつとちゃうのはいかにキャロルらしい。日本語吹替から英語に切り替えて、こつこつ表現になるのから確認するのも楽しいね。でもこれじゃ、本当にただのファンだわ。そんなこと言われなくても分かってた？

ERの舞台を案内してくれる約束、忘れないで。キャロルとルカになりきって、カプスのスタジアムでホトドックを食べるんだから、ユニオンステーションからフェニックス行きのアムトラックに乗るの。グリーンのマンラー巻いて、Bye~ってね。

本学教員の新聞

(接台情報センター調べ)

アーツ・マネジメント	河島伸子 他 著 放送大学	2000円
国際紛争・理論と歴史	ジョセフ・S・ナイ 著 村田晃嗣 他 訳 有斐閣	2500円
世界戦争犯罪事典	秦郁彦、佐瀬昌盛、常石敬一 監修 麻田貞雄 他 著 文芸春秋	18000円
演劇都市はバンドラの匣を開けるか	佐々木和貴 責任編集 圓月勝博 他 著 ありな書房	4000円
日本の政府体系	真山達志 他 編著 成文堂	2700円
キリスト教文学を学ぶ人のために	安森敏隆、吉海直人、杉野徹 編 岩山次郎、真銅正宏 他 著 世界思想社	2200円
近代英語、現代英語論文集	井田瑛穂 著 北山書房	1905円
岐路に立つ世界を語る9・11以後の危機と希望	松原正毅、小杉泰、白井陽 編 森 孝一 他 著 平凡社	2200円
わかる！ミクロ経済学レクチャーとエクササイズ	篠原総一 著 有斐閣	3200円

CD

Gavin James Campbell

【アメリカ研究科客員教授】

Review of Janis Joplin *Pearl*

Sometimes the hardest thing in the world is to find a good CD. Even a store full of thousands of CDs by hundreds of different artists is often no help – how are you going to find something new that won't be a waste of your money? Where do you start?

Let me recommend going back to some roots.
Let me recommend *Pearl*.

Pearl was the last record Janis Joplin ever made. Recorded in 1970, she never actually completed the whole album, because she died of a heroine overdose at age 27 before recording the vocals for “Buried Alive in the Blues.” But even in its incomplete state, *Pearl* is without question Janis Joplin’s most mature recording and one that secures her reputation as one of rock music’s greatest voices.

Pearl represents an artistic coming-of-age that began in the psychedelic hippie rock of the late 1960s San Francisco music scene. Over several years and with several bands she experimented with blues, country and western, and soul, but it’s on *Pearl* that she cemented these elements into something impressive and coherent and uniquely her own. On previous recordings her voice often overwhelmed the band, but on *Pearl* she and the Full Tilt Boogie band work together beautifully, alternating sizzling grooves on one track, and death-defying heartbreak on the next.

Even casual fans will recognize – and sing along with – Joplin’s version of “Me and Bobby McGee,” a easy-going tune that carries an equally easy-going message: “freedom is just another word for nothing left to lose.” But there’s much more to *Pearl* than just this famous song. Beginning with “Move Over,” Joplin sets the tone, singing about heartbreak and loneliness and the ability to rise above both. Throughout the recording she maintains firm control of her material, working it to an

emotional climax by exercising an astonishing emotional control over her voice. And it’s always that *voice* – how can you explain it? It’s everything all at once, containing in its cracks and its bulk every pain we’ve ever known, but that somehow she expresses better than any of us. The new CD release from Columbia includes some bonus tracks taken from a live performance in 1970 that shows that she’s as electric on stage as in the studio. She begins by telling the band and the audience “I’m ready man,” and she’s not kidding. By the time she hits the CD’s final live track, “Cry Baby,” her voice is ragged and tired, but she pushes it to a chilling start, straining to go higher and higher. She drains herself of everything she has and by the end we’ve learned a lot of Janis Joplin. But we’re not just spectators; she also forces us to dig more deeply into ourselves.

Every once in a while you should step out of the whirlwind that moves pop music forward and take a look back. *Pearl* is an excellent place to take refuge. Shout “I’m ready man!” and push the play button.



『PEARL / パール』

JANIS JOPLIN / ジャニス・ジョプリン
2000年(1971年) 価格:各¥1,785円(税込)

リストラと転職のメカニズム…労働移動の経済学 玄田有史、中田喜文 編 東洋経済新報社 3000円	ITを利用した外国語教育の改善 北尾健治 他 著 JALIT京都支部 1400円	ヴィクトリア時代の経済像…企業家・労働・人間開発そして大学・教育拡充 西岡幹雄 他 著 萌書房 2200円	理系発想の文章術 三木光範 著 講談社現代新書 680円	日本の雇用システム 産業構造改革と労働関係の再編 社団法人関西国際産業関係研究所編 中條毅編 石田光男、竹中正夫 著 3800円	現代コミュニケーション論 21世紀 地域福祉をともに創る 渡辺武男 他 編著 中央法規出版 2800円
--	--	---	------------------------------------	---	--

大学では、噴霧・燃焼工学の研究室に所属していました。といっても選ぶのに明確な意図があったわけではありません。和気あいあいとしていて、楽しそうに実験しているゼミの雰囲気が入ったからです。結果的に、この選択が私の就職活動に幸運をもたらしてくれたのです。

当初、志望していたのは自動車メーカーの研究職でしたが学部卒の採用枠がなく、プラントメーカーに方向転換しました。会社によっては女性にSEでしか採用しないということも多く、最終的に日立製作所に就職することを決めました。ところが入ってみると、日立研究所で、低燃費な筒内噴射エンジンの部品開発事業の立ち上げにあたって内燃機関の専門者を探しており、急転直下、意中の

MY LIFE 「仕事」

こんなに話し上手になっていた。
英語でビジネス文書を書いていた。
卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して
級友の方々にとっては良き近況報告、
生活の現実を考える機会になれば幸いです。



自動車エンジンの研究に従事できることになりました。回り道のつもりが、まさにストライクという巡り合わせです。

しかし、実際に勤務すると喜んでばかりは
いられません。学生時代と違って、責任が重
くのしかかってくる。自分で研究方針を立て、
結果を出さないといけないし、研究サイ
クルも大学時代とは比べものにならないくら
い短いのです。何より困ったのは、研究資料
に英語の文献が多く、ときにはドイツ語の場
合さえあるということです。当時TOEIC
350点だった私にとっては難敵でしたが、克
服しないわけにはいきません。会社の研修制
度を利用して奮闘、なんとか文献を読んだり
日常会話するには困らない程度にできる
ようになりました。この英語に関していつか
私たちの仕事も研究だけをしていければいい時

代は終わり、プレゼンテーションが大きなウエ
イトを占めるようになっていきます。自動車メ
ーカーの系列崩壊により、新規エンジンの部
品メーカーを決めるのにコンペティションの形
式がとられるようになったからです。外国人
の参加者も多く、ここでも英語は不可欠にな
りつつあります。いつか受注できたときは
喜びもひとしお。私がエンジン開発に関わ
った自動車を町で見かけたときには、「あ、私
のエンジンが走ってる」と心の中で叫んでしま
います。

配属になったときから、部署では女性は一
人。何より顔を覚えてもらえるので人脈
が広くなり、研究生活にはプラスになること
がたくさんありました。しかし、この7月に
出産し、育児休暇復帰後のことを考えると、
帰宅が遅くなりがちで研究生活にとって育
児はハンディです。大きな組織なのでサポ
ート制度は行き届いていますが、現実にはやはり
夫の協力が不可欠なようです。

P R O F I L E

中山 容子さん

【1995年工学部機械工学第2学科卒業】
日立製作所 日立研究所
情報制御第三研究部勤務



エンジンの研究者らしく中山さんはバ
イクが大好きで、学生時代には琵琶
湖一周のツーリングにも出かけてい
たという。そんなガソリンエンジンに
も逆風が吹きはじめている。燃料電
池など環境にやさしい技術に注目が
集まりはじめたのだ。中山さんも「こ
れからはやはり環境対策がポイントになります」と語る。

学生時代の一番の思い出は、やはりハワイでの留学生活です。それまでこのことと勉強を続けてきた英語力を生かしたくて、交換留学プログラムに応募。3年次の秋から1年間、ハワイで学生生活を送りました。ハワイはいわば米国の沖縄です。米国本土とは歴史も違えば、住民感情も違います。たとえば、アメリカ人にとって真珠湾攻撃は特別な意味を持ちますが、ネイティブの人々にとってはワイ王朝の崩壊がより重要な意味を持つことも分かりました。

同志社大学に戻ったのは4年次の夏。その頃には友人たちは、ほぼ就職活動を終えていました。私は、ハワイにおいて日本を諸外国との比較の下に考察するという経験をした結果、そのようなことが職業として正面から

MY JOB MY LIFE
 世界の中の日本を意識する
 きっかけとなった。
 ハワイ大学への交換留学が、

シリーズ MY JOB, MY LIFE
 第18回 私と

学生時代、とても無口だったあの人が、
 学生時代、英語の苦手だったあの人が、
 このシリーズは、毎号それぞれの分野で活躍する
 何を考えてきたかを取材しています。
 学生諸君には将来のキャリア・プランと学生



取り組める外務省を志望するようになり、帰国後、1年間の受験勉強を経て、外務省専門職試験に合格しました。入省後1年は本省で勤務しましたが、翌年から2年間、カリフォルニア州立大学サンディエゴ校の大学院へ留学、国際関係学を学びました。国費留学というプレッシャーを感じつつ、この2年間はひたすら勉強しました。外務省職員の場合、留学後は最低1ポストを在外公館で勤務するケースが多いのですが、私の場合は、2年間ワシントンDCの日本大使館で勤務し、今年の6月から再び本省にもどり、今は総合外交政策局という組織下で原子力関係の仕事に従事しています。原子燃料の輸入や使用済み燃料の扱いにまつわる諸外国との協定の運用・締結が主な業務ですが、実は対外的な交渉よりも、経済産業省や文部科学省など関係省庁との調整が大きなウエイトを

占めます。余談になりますが、日本では条約をつくる場合、案文を内閣法制局が精査します。このチェックが難関で、訳語や英語の表現にまで細かく修正を加えます。他国の外交官も、そこまで」と閉口するほどですが、これも日本人のメンタリティなのでしょう。

一方、海外に出ると「外交官」と呼ばれ、日本を代表しているんだという思いから、国益を熱く訴えることになりませんが、米国のように主張しすぎるのには反対です。国際社会ではじかり自己主張することが重要だといわれますが、他国に配慮する日本人らしいメンタリティも大切だと思います。

最後に、後輩のみなさんには、学生生活の余力で何かひとつのことに打ち込んでみることをお勧めします。学生生活に厚みが出るし、自分のものとして語れるものができるだけでなく、素晴らしい4年間になるのではないのでしょうか。

P R O F I L E

高岡 正樹さん
 【1997年 法学部法律学科卒業】
 外務省総合外交政策局
 科学原子力課勤務



高岡さんは「ハワイで過ごした経験は、サンディエゴでの経験よりも大きかった」と語る。米国本土と日本の中間に位置するハワイという地勢学的観点から双方を見られたという。あわせて、東洋と西洋の混在を可能としている寛容な「アロハスピリット」を知った。「ハワイ大学でいっしょだった交換留学生の多くが、リピーターとなって再びハワイを訪れています」と語るように、ハワイは勉強以上に大きな収穫が得られるところなのだろう。

ANNOUNCEMENT



ふらっと

映画上映他/2002

【場所】多目的ホール(京田辺校地) 【料金】無料

世界の映画事情 / 中国

12月 3日(火)「山の郵便配達」 99年(フォ・ジェンチイ監督)93分
12:30 - / 15:00 -

心温まるクリスマスファンタジー

12月 4日(水)“京田辺夕暮れコンサート~同志社が贈る、
ちよっと早めのクリスマス・サウンド~”
15:00 - (学生企画:きゆう研究会)

クリスマス・ラウンジコンサート

12月9日(月)~13日(金)12:30~13:00 於:多目的ホールラウンジ

12月 9日(月)「同志社交響楽団」

12月 10日(火)「F・A・C」

12月 11日(水)「アカペラサークル“One VOICES...”」

12月 12日(木)「グリークラブ」

12月 13日(金)「軽音楽部」

お問い合わせ先:学生課(京田辺)TEL:0774-65-7410

課外講習(Ski)参加者募集

本年度も恒例のスキー講習を実施します。講習は参加者の技術レベルに合った少人数の班編成で行います。募集対象者は、学部生から大学院生までのすべての同志社大学生です。

スキーを始めたい人、もっとうまくなりたい人は、是非参加してください。

【日 程】2003年2月18日(火)~21日(金)泊3日4日

【スキー場】長野県野沢温泉スキー場

【参加費】38,400円(交通費・用具レンタル料を除く)

その他に、リフトカード保証金1,000円(講習会終了後返却)が必要

【募集期間】12月2日(月)~16日(月)

【申込場所】京田辺 体育係(磐上館) 今出川 教務課(弘風館1F)

【お問い合わせ先】体育係(京田辺校地磐上館)TEL:0774-65-7510

同志社大学応援団アトムフェスティバル2002

日時:12月25日(水)17時30分開演(17時開場)

場所:京都府会館第2ホール(京都市左京区岡崎)

お問い合わせ先:075-251-4460(今出川) 0774-65-7922(京田辺)

ホームページ: <http://www.donet.gr.jp/dpaq/>

フレッシュマンキャンプ学生スタッフ募集

新入学生を対象としたフレッシュマンキャンプに、企画・運営補助から新入学生へのアドバイスまで...先輩として協力してくれる学生スタッフを募集しています。(事前打合せに数回参加していただきます)

2003年4月19日~20日同志社びわこリゾートセンターで実施

お問い合わせ先:学生課(京田辺)TEL:0774-65-7410

障がい学生のためのアシスタントスタッフ(有償)募集中

障がい学生のためのアシスタントスタッフ(有償)を募集しています。

お問い合わせ先:学生課(京田辺)TEL:0774-65-7410

全同志社クリスマス キャンドルライト・サービス

出演:同志社女子中高、同志社高校、同志社中学、大学聖歌隊
同志社大学ハンドベルクワイア、同志社女子大学聖歌隊

入場料:無料

と き:12月21日(土)18時開演(17時30分開場)

ところ:同志社栄光館(女子大・女子中高内)

お問い合わせ先:同志社女子大学宗教部 TEL:075-251-4141

第13回 同志社京田辺クリスマス燭火讚美礼拝

出演:同志社学生聖歌隊、同志社大学神学部関谷クラス「キリスト教文化学16」、
京田辺市民合唱団、田辺少年少女合唱団コスモス、同志社大学ハンドベルクワイア、
同志社国際中学校トーンチャイム ほか

入場料:無料

と き:12月7日(土)16時30分開場(16時開場)

ところ:新島記念講堂(京田辺校地)

お問い合わせ先:キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

クリスマスイルミネーション点灯式

京田辺校地 12月2日(月)16時30分開場 ラーネット記念図書館前にて

第38回全同志社メサイア演奏会

出演:同志社交響楽団、同志社グリークラブ、同志社女子大学メサイア研究会ほか
指揮者:本名 徹次

ソリスト:Soprano 鈴木美登里 Countertenor 上杉 清仁

Tenor 谷口 洋介 Bass 三原 剛

と き:12月24日(火)18時開演(17時開場)

入場料:1,500円 前売:同志社生協、チケットぴあ、京都コンサートホール

ところ:京都コンサートホール大ホール

お問い合わせ先:全同志社メサイア実行委員会 090-9698-2659

「学生課からのお知らせ」

課外活動用に学生デジタル編集室を10月OPEN。お問い合わせは学生課まで。
聴覚に障害のある学生・ご父母のため、卒業式・入学式に手話通訳者を派遣
いたします(事前相談要)。

お便りお待ちしております

『One Purpose』は、学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行します。ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見をお寄せください。

One Purpose <ワンパーパス>

同志社大学通信133号

2002年12月1日(4・6・10・12月年4回)発行

発行 同志社大学 広報課

〒602-8580 京都市上京区今出川通丸東入

TEL 075-251-3120 FAX 075-251-3080

E-mail ji-koho@mail.doshisha.ac.jp

ご購入お申込みについて

本誌の継続購読を希望される卒業生の方は、同志社大学校友課まで、電話もしくはFAXでお申し込みください。
同志社大学校友課:TEL075-251-3009、FAX075-251-3097